

ガンから身を守ろう

— 5人に1人はガンで死ぬ —

ガンで死ぬ人が多い。

現在ではガンの根治薬も、予防の方法も、まだ発見されていないので、なおさら恐ろしさを感じずにはられません。

昨年中には104, 149人の日本人がガンで死んでおり、5分間に1人ずつどこかで、だれかがガンで死んでいる計算になります。

国民死亡順位をみても、ガンは脳卒中について第2位ののし上っており、脳卒

中の死亡者が毎年減っている今日、ガンによる死亡者が第1位に台頭する日もそう遠くはないだろう。

ガンは、痛みも、熱もなくこっそりわれわれを苦しめる、しかしちよっとの注意で自分をガンから守ることが出来ます。それは、早期診断による早期発見より方法はありません。

もしや……と感づいた日にはすぐ、ガンの専門医をたずねよう。

ガン早期発見10カ条

- (1) 原因がわからず、痛みもないのにやせてきて、顔色がわるくなり、貧血してくることはないか (すべてのガン)
- (2) 長らく胃腸の具合がわるくはないか 食欲はおとろえないか (胃ガン)
- (3) おりものがふえたり、血がまじったりしないか。不定期出血や接触出血はないか (子宮ガン)
- (4) 乳房のなかに長く消えないシコリがないか (乳ガン)
- (5) ものを飲みこむとき、つかえるような気がしないか (食道ガン)
- (6) 便通の調子が狂ったり、血がまじったりしないか (大腸ガン、直腸ガン)
- (7) セキが長く続いたり、タンに血がまじったりしないか (肺ガン)
- (8) 声がかすれて、長くなおらないことはないか (こう頭ガン)
- (9) 口の中や皮膚になおりにくいカイヨウはないか (舌ガン、皮膚ガン)
- (10) 尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか (じん臓ガン、ぼうこうガン、前立せんガン)

(日本対ガン協会で作ったもの)

恐ろしい日本脳炎から
子どもを守ろう!!

日本脳炎も恐ろしい病気の一つです。ことしは九州地方を中心に発生し、流行が日増しに北上しており、秋とはいえ、十分注意する必要があります。

この病気にかかると、死亡率が高いというばかりでなく、辛うじて生きながらえたとしても、ほとんどの人が後遺症を残し、一生を暗くすごさなければなりません。

では、この病気にかからないようにするためにはどうすればよいのでしょうかそれは次のことがらをよく守ることです

- (1) 日本脳炎の予防接種をすること。
- (2) 日光に長時間あたらぬようにし、炎天下では必ず帽子をかぶること
- (3) 過労を避け、すい眠を十分とること
- (4) 栄養を十分とり、体力をつけておくこと。
- (5) 蚊にさされないようにこころがけること。
- (6) 蚊の発生、せい息場所に対し、DDT, BHCなどの殺虫剤による蚊の駆除を行うこと。

本宮橋が完成す

豪雨のたびに、流失にみまわれていた本宮橋(麓西線の本宮、杉沢間の引欠川にかかっている橋)も、去る8月19日りっぱな永久橋として生れ変わりました。

この橋は、延長50.10メートル、巾が4.5メートル、上部にはP・C桁を用いたもので、総工費744万円を投じて完成したものです。

この橋の完成で、長い間災害で苦しんできた地元の人々は、「もう、これからは、ハスが流されることもネエシ、アンスンしてくらしてエケル、ホントニエガッタス」……と心から喜こんでいました。



桂城公園にナトリウム塔

このナトリウム塔は、昭和38年の42会(代表、越前繁治氏)の方々が20万円の経費を投じて完成し、これを市に寄附したものです。

夜ともなれば、この塔から発せられるほんのりとした中光色が、公園や体育館を包み、別世界を思わせるような美しい情景をえがいています。

市でも「このナトリウム塔が設置されたため、公園も一段と美しさを増した」と非常によろこんでおり、これからは42会の方々のご好意にこたえて、維持管理に十分力を注ぐとともに、「夜のデートは桂城公園で」と宣伝することになった?。

